

新型コロナウイルスによる生乳需給への影響を鑑み、直近の飲用等向けの販売状況の推移を中心に毎週発信してまいります。

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《生乳需給は緩和傾向が強まる恐れ～今後の生乳需給について～》

・11/16週の牛乳の家庭内消費については、前週(11/9週)と同程度の伸び率となっており、好調に推移している。一方、ヨーグルト類については、低調な販売状況が続いているが、家庭用バターについては引き続き前年を大きく上回って推移している。

・12月以降も家庭内消費をさらに拡大するべく、業界全体で需要拡大に取り組むことが重要となる。

・一方、全国的な新型コロナウイルスの感染再拡大によって、東京都では11/28より都内飲食店へ時短要請が出されるほか、大阪市と札幌市が「Go Toキャンペーン」から除外される等の対応が図られているところである。今後、業務用需要への影響は避けられない状況にあるが、感染状況次第では他の自治体でも同様の対応が取られる可能

【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI】

(1)直近(本年9月～)の動向(表①参照)

・直近(11/16週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：同104.6%、成分調整牛乳：同100.4%、加工乳：同92.8%、乳飲料：同94.0%。

・牛乳類トータルでは同102.2%と前週(11/9週)と同程度の水準。

・販売単価は、牛乳：190.0円、成分調整牛乳：173.1円、加工乳：185.5円、乳飲料：150.7円。

(2)各品目とも前週(11/9週)と同程度の水準で推移している。

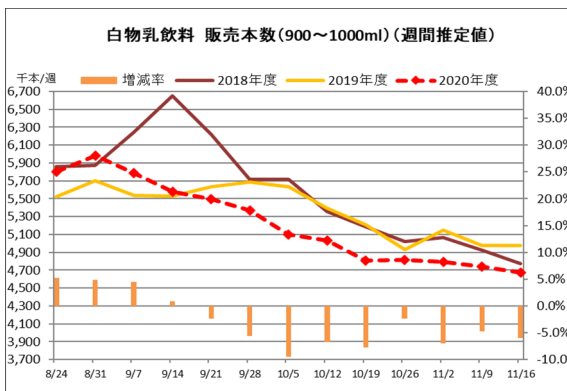
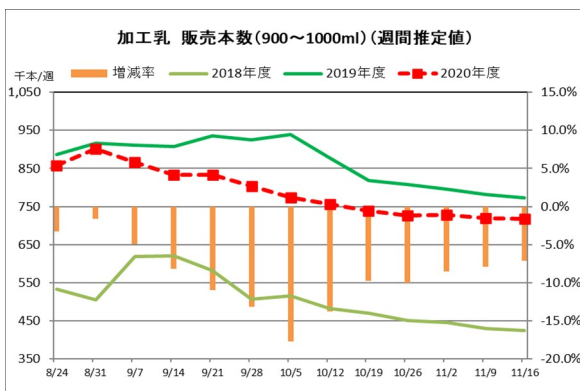
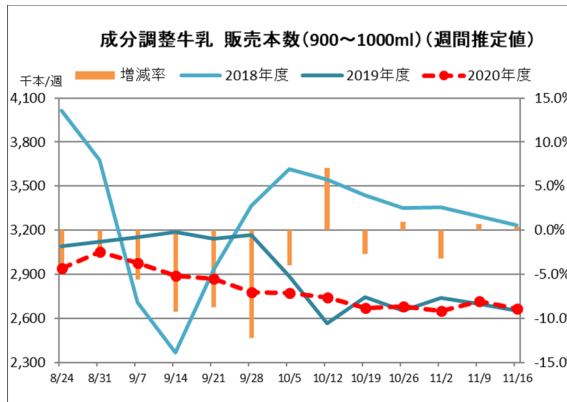
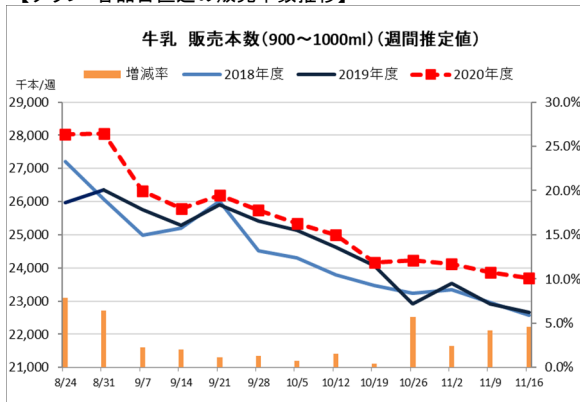
※出典 (株)インテージSRI週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(千個)

品目	区分	9.7-	9.14-	9.21-	9.28-	10.5-	10.12-	10.19-	10.26-	11.2-	11.9-	11.16-
		販売個数	35,955	35,084	35,404	34,702	33,983	33,528	32,387	32,456	32,283	32,048
トータル	販売個数前年比	101.7	100.5	99.4	98.6	98.2	100.2	98.6	103.6	100.2	102.1	102.2
	販売単価	183.8	183.9	183.5	182.9	182.9	182.8	182.8	182.4	182.5	182.2	182.7
牛乳	販売個数	26,330	25,782	26,204	25,751	25,337	24,992	24,171	24,237	24,113	23,873	23,703
	販売個数前年比	102.3	102.0	101.1	101.3	100.8	101.5	100.4	105.7	102.4	104.2	104.6
牛乳	販売単価	192.0	192.2	191.4	190.7	190.3	190.2	190.0	189.6	189.7	189.5	190.0
	販売個数	2,974	2,891	2,868	2,780	2,774	2,744	2,671	2,679	2,652	2,718	2,663
成分調整牛乳	販売個数前年比	94.4	90.7	91.3	87.8	96.1	107.0	97.3	100.9	96.8	100.7	100.4
	販売単価	175.4	174.9	174.4	173.4	173.8	173.8	173.7	173.6	173.7	172.6	173.1
加工乳	販売個数	867	833	833	804	773	757	739	726	728	719	718
	販売個数前年比	95.1	91.8	88.9	86.9	82.2	86.3	90.2	90.0	91.4	92.0	92.8
加工乳	販売単価	183.6	184.3	183.3	184.2	186.1	186.7	185.7	186.1	186.3	186.0	185.5
	販売個数	5,784	5,578	5,499	5,366	5,099	5,034	4,805	4,814	4,790	4,739	4,673
乳飲料	販売個数前年比	104.5	100.9	97.7	94.4	90.5	93.3	92.3	97.6	93.0	95.2	94.0
	販売単価	150.6	150.5	150.6	150.4	150.5	150.6	150.8	150.6	150.8	150.1	150.7

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近(本年9月～)の動向(表②参照)

直近(11/16週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90～250ml):前年同期比90%以上、
 個食タイプ(70～130ml):同90%以上、
 大容量タイプ(350～500ml):同100%以上。

(2)ドリンクタイプ・個食タイプは、前週(11/9週)と同程度の縮小幅で推移している。また大容量タイプは、引き続き前年並みで推移している。

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	9.7-	9.14-	9.21-	9.28-	10.5-	10.12-	10.19-	10.26-	11.2-	11.9-	11.16-
ドリンクタイプ	↘	↘	↓	↘	↘	↘	↘	↘	↓	↘	↘
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	↔	↔	→	→	→	→	↘	→	↘	→	→

- ↓ : 前年比90%未満
 ↔ : 前年比105%以上110%未満
- ↘ : 前年比90%以上100%未満
 ↗ : 前年比110%以上120%未満
- ↔ : 前年比100%以上105%未満
 ↗ : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※本データの収集・分析は、2020年度生乳需要基盤確保事業を活用し実施しております。